

「新年にあたって」



香川県商工会連合会
会長 篠原 公七

新年明けましておめでとうございます。

我が国経済は、大企業や都市部の中堅・中小企業を中心に緩やかな回復が続いています。しかしながら、地方の中小企業・小規模事業者においては、人口減に伴う働き手の不足や販路の縮小、さらには、経営者自身が高齢化する中で後継者不在等により廃業を選択せざるを得ないなど、依然厳しい経営環境にあります。

このような中、商工会は、小規模企業施策の第一線での役割を果たすべく、中小企業・小規模事業者に対する経営計画の策定及びその実践を支援する伴走型支援事業を展開しています。また、地方創生を実現するための各種事業を推進しております。

具体的には、経営発達支援計画認定に向けた商工会を支援し、現在、七商工会が認定を受けその事業を実施しております。更に、事業者の個別的な課題解決や経営計画策定のため、専門家を現地に派遣し事業者への直接支援を積極的に実施しております。また、「アンテナショップ」machikara」を開設、昨夏には物産展「え

えもんフェスタ2017」を開催する等、事業者の販売力向上と販路開拓の支援を実施しています。

地域活性化の場面では、青年部による「婚活支援事業」、女性部による「まち歩き事業」や職員を中心としたかがわ交通マナーアップコンテストにエントリーするなどの地域貢献活動にも積極的に取り組んでおります。

また、会員サービスの一環として、全国会員福祉共済、商工貯蓄共済をはじめ、各種共済制度の普及・推進にも努めております。

地域経済を支え、地域の雇用を維持している中小企業・小規模事業者の持続的な成長・発展を図り、地方経済の活性化に貢献していく所存です。加えて、職員の人材育成による支援力の強化、さらには、会員サービスのより一層の充実に努め、「なくてはならない商工会」であり続けることを目指して、さらに精進してまいる所存でありますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様方のご活躍とご繁栄をご祈念申し上げます。春のご挨拶とさせていただきます。

年頭にあたって



全国商工会連合会会長
石澤 義文

新年明けましておめでとうございます。平成三十年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年の我が国経済は、緩やかな回復基調が続き、企業収益も堅調に改善いたしました。しかし、地方の中小企業・小規模事業者は、過疎化や人口減少による地域内の消費の縮小、働き手や後継者の不足など、引き続き厳しい経営環境におかれております。

こうしたことから、昨年十一月に開催した第五十七回商工会全国大会では、全国各地から三、〇〇〇名の商工会関係の皆様にご参集いただき、地方の中小企業・小規模事業者の持続的な成長・発展、さらには、生産性向上による働き方改革の実現等を目指し、従前の規模に捉われない中小企業対策費の大幅な拡充や、事業承継施策の抜本的な強化など、五項目について満場一致で決議いただきました。

今年は、決議項目の実現はもとより、昨年度に引き続き、全会員

事業者に対する「経営計画の策定・実行支援」を最重要の組織目標として掲げ、一人でも多くの会員事業者が自社の経営計画を策定し、持続的な経営が行えるよう、組織一丸となって支援事業に取組んで参ります。

加えて、今年は、事業承継支援にも積極的かつ果敢に関与していくことが商工会に求められており、そのため、商工会は自らの経営発達支援計画を着実に実行するとともに、スーパーバイザー制度の活用や高度な資格取得の推進により、不断に支援能力を高めて参ります。

こうした活動を通じて、地方の中小企業・小規模事業者の持続的な成長を促し、もって、地方経済の振興と地方の創生を実現することを目指し、役員ともども心を一つにして邁進する所存であります。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。